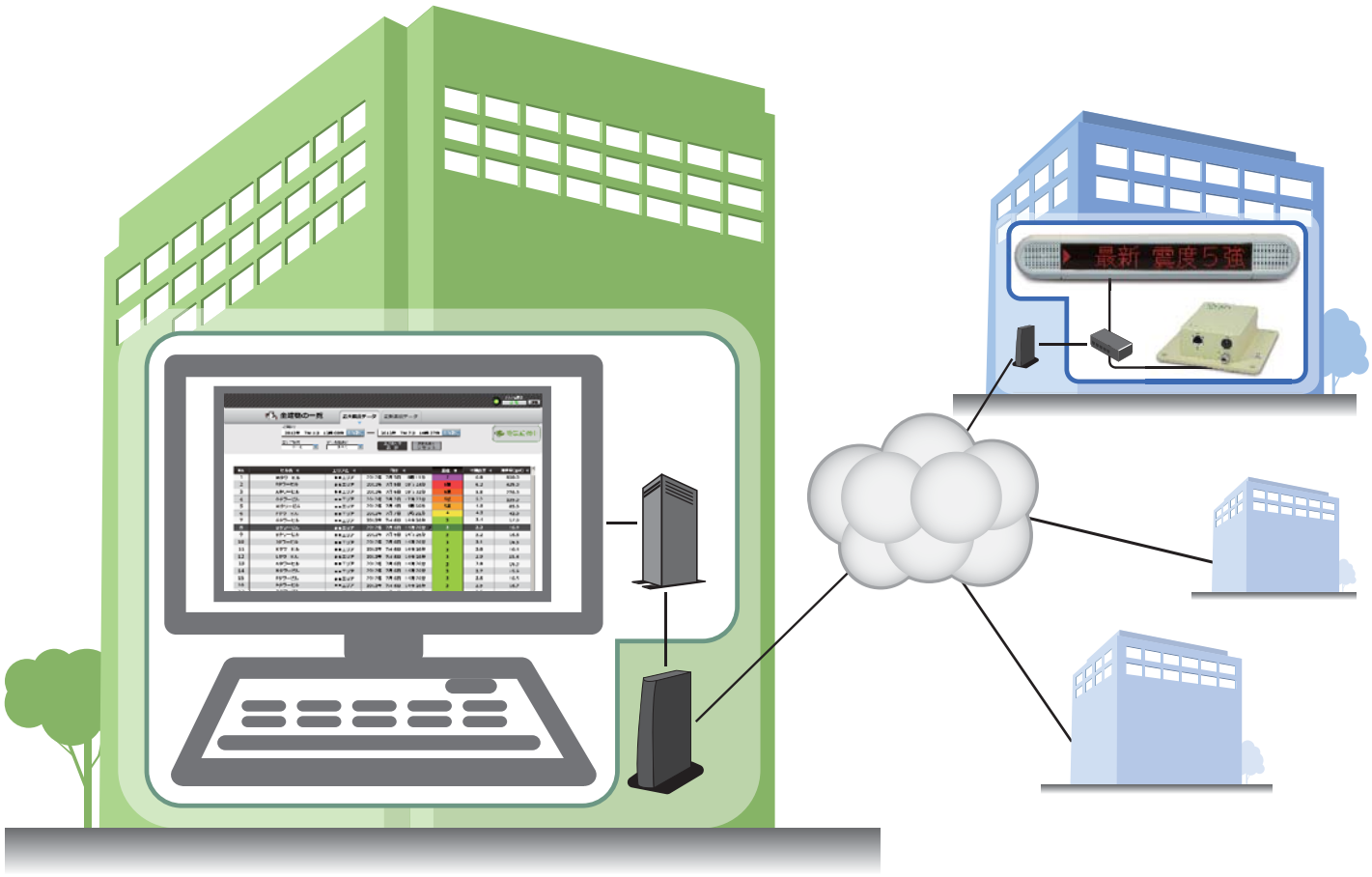
HAKUSAN

－ 計測地震防災システムシリーズ －

簡易震度計システム VissQ（ビスキュー） -Lite【グループ監視】

簡易震度計 SU010 / 表示器 VM010 / センター表示ソフト SH010



グループ内各施設の被災状況をセンター側で集中管理。
震災支援・復旧のための迅速な対策を可能にします。

特 長

▶地震発生時の当該施設の被災状況を把握

広域に複数の施設を展開する組織や企業グループは、本システムにより、センター側（対策本部）で定量的なデータで示された各施設の被災状況を集中管理することが可能です。
各施設の震度、計測震度、加速度 (gal) 値、通信途絶状況を把握できます。

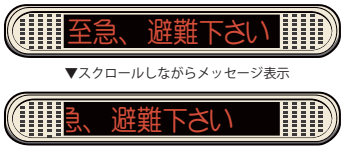
No.	ビル名	エリア名	日付	震度	計測震度	加速度(gal)
1	Mタワービル	●●エリア	2012年 7月 5日 8時 11分	7	6.8	850.0
2	Iタワービル	●●エリア	2012年 7月 5日 10時 24分	6強	6.2	425.0
3	Aタワービル	●●エリア	2012年 7月 6日 10時 32分	6弱	5.8	270.0
4	Oタワービル	●●エリア	2012年 7月 2日 17時 22分	5強	5.2	135.0
5	Wタワービル	■■エリア	2012年 7月 4日 1時 56分	5弱	4.8	85.0
6	Fタワービル	●●エリア	2012年 7月 7日 9時 21分	4	4.2	42.0
7	Gタワービル	■■エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	3.4	17.0
8	Uタワービル	●●エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	3.3	16.9
9	Bタワービル	■■エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	3.2	16.8
10	Jタワービル	■■エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	3.1	16.5
11	Kタワービル	■■エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	3.0	16.1
12	Lタワービル	●●エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	2.9	16.4
13	Aタワービル	●●エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	2.8	16.9
14	Nタワービル	■■エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	2.7	15.9
15	Eタワービル	●●エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	2.6	16.5
16	Pタワービル	■■エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	2.5	16.7
17	Qタワービル	■■エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	2.5	16.6
18	Yタワービル	●●エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	2.5	16.3
19	Sタワービル	●●エリア	2012年 7月 6日 14時 26分	3	2.5	16.3

▶施設対応の優先順位付けをサポート

センター側で各施設の状況を定量的に判断し、対策の優先順位付けをサポートする表示画面を提供します。
また、各施設の被災状況をエリア選択等の条件により選別した一覧で確認できます。

▶センター側から指示をテキストにて表示

センター側で、各施設（単体、複数選択可）の表示器に最大 32 文字のテキストで指示等を送り、表示することが可能です。



被災時に施設管理者が不在の施設に指示を発信できます。
（各施設使用者とともに作成した運用基準が必要です）

簡易震度計システム VissQ -Lite（ビスキュー ライト）【グループ監視】

▼主な仕様

震度データ集約ソフト SH010-S

機能		グループ内の震度情報等を収集、管理 表示器の表示テキストを配信 *データ閲覧ソフト SH010-V* 機能も包含
システム要件	OS	Windows Server 2008 R2
	.NET Framework	4.0
	プロセッサ	2GHz 以上のマルチコアプロセッサ
	メモリ	4GB 以上
	HDD	10MB 以上の空き容量、 1TB 以上のデータ保存領域、 RAID1 構成推奨
	通信インターフェイス	100BASE-TX 以上
	ディスプレイ	解像度 1280 × 1024、 または解像度 1920 × 1080

震度データ閲覧ソフト SH010-V（オプション）

機能		データ集約ソフトから情報を受け、 グループ内の震度情報等を一覧表示
システム要件	OS	Windows 7
	.NET Framework	4.0
	プロセッサ	2GHz 以上のマルチコアプロセッサ
	メモリ	4GB 以上
	HDD	10MB 以上の空き容量
	通信インターフェイス	100BASE-TX 以上
	ディスプレイ	解像度 1280 × 1024、 または解像度 1920 × 1080

※本ソフトウェアの使用には、別途、*震度データ集約ソフト SH010-S* の動作するサーバーが必要です。

簡易震度計 SU010

検出成分	3 成分（水平 2 成分、垂直 1 成分）
加速度センサー	静電容量型 MEMS センサー
測定レンジ	± 2G
振動数特性	0 ～ 50Hz ± 10 %
分解能	1mG
測定インターバル	10msec
強震指標演算	震度（気象庁計測震度演算方式準拠） 最大加速度（0.1 ～ 5.0Hz）
通信プロトコル	HTTP、HTTP クライアント、NTP クライアント
通信インターフェイス	100BASE-TX （RJ45 コネクタ ）
表示器接続台数	最大 5 台
使用電源	AC-100V（AC アダプタ付属 DC-5V） 消費電力約 1.5W
動作環境	温度：-20 ～ 70℃ AC アダプタ -10~40℃ 湿度：20~80%Rh（但し、結露無きこと）
外形寸法	約 140(W) × 140(D) × 45(H) mm
質量	約 650g

※本地震計で気象庁の計測震度検定を受けることはできません。
したがって気象庁検定合格を要件とする用途には使用できません。

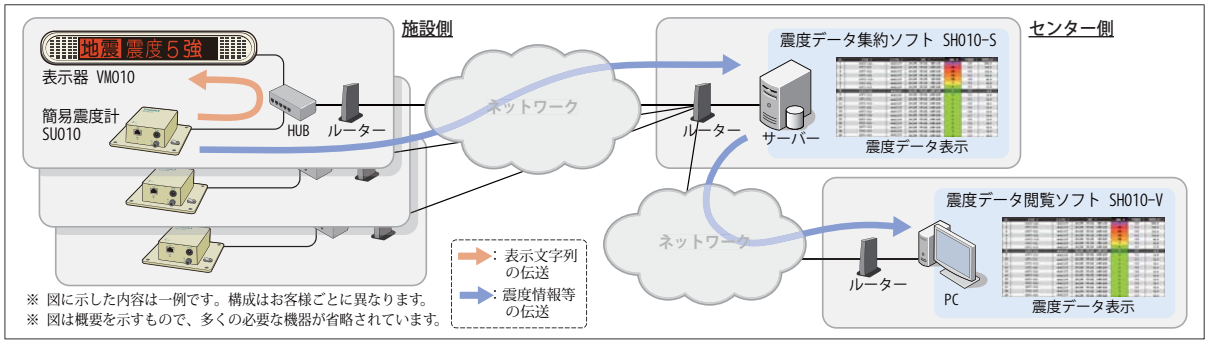
表示器 VM010

接続機器	簡易震度計専用
通信インターフェイス	10BASE-T/100BASE-TX （RJ45 コネクタ ）
文字表示色	赤
文字サイズ	最大 64 × 64mm
LED 個数	2048 個
表示開始レベル	震度 3 以上を検知した時
表示内容	待機時：現在時刻 - 年月日時分秒 起動時：最新震度、最大震度、 最大加速度値 (gal) 起動時刻 (月日時分)
使用電源	AC-100V（50/60Hz） 消費電力 待機時：約 6.5W 動作時：約 16W
動作環境	温度：0~40℃ 湿度：20 ～ 80%Rh（但し、結露無きこと）
外形寸法	約 800(W) × 75(D) × 130(H) mm
質量	約 4kg

▼標準付属品

簡易震度計 SU010： AC アダプタ、ユーザーズマニュアル、保証書 ／ 表示器 VM010： ユーザーズマニュアル、保証書
震度データ集約ソフト SH010-S：ユーザーズマニュアル ／ 震度データ閲覧ソフト SH010-V：ユーザーズマニュアル

▼システム構成例



注) 本機を正しくより安全にご使用いただくため、ご使用の際には必ず「取扱説明書」または注意書きをよくお読みください。
※ この資料に記載された「震度」「計測震度」は、それぞれ震度相当値、計測震度相当値を示しています。
※ ソフトウェアの販売は使用を許諾するものであり、所有権を含むその他いかなる権利も譲渡するものではありません。
※ この資料に記載された仕様・デザインは予告なしに変更することがあります。
※ この資料の記載内容は 2013 年 4 月 22 日現在のものです。

白山工業株式会社
〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-1 J タワー 10F
TEL. 042-333-0080　FAX. 042-333-0096
URL: http://www.hakusan.co.jp/
E-mail: support@hakusan.co.jp

■お問い合わせは…